



作り方 -火起こし係-

作り方 火起こし係



●火起こし係の流れ●

- ①薪割り、落ち葉や枝集め
- ↓
- ②火起こし
- ↓
- ③火の状態の確認

①薪割り



ケガには十分
注意するドン!

□用意するもの

・薪割り台 ・鉈 ・軍手 ・革手袋

- ①利き手（鉈を持つ方）の軍手を外して鉈を持つ。
薪を持つ手は軍手の上から革手袋をはめる。





利き手は滑らないように
するために素手だドン!

①薪割り

- ②薪に持ち手に近い方の鉈の刃をあて、**薪と鉈を離さない**
ように数回トントンと薪割り台に打ち付ける。



Point 
鉈はななめに当てよう!

Point 
薪を持つ手は
できるだけ下を持とう!

①薪割り

③鉈が薪にめり込んだことを確認したら、両手で鉈を持ち、薪割り台に打ち付け薪を割る。



鉈に大きめの薪を打ち付ける方法もあるよ！



①薪割り



Point
火の点け始めに使う細い薪（焚き付け）は割り箸くらいの細さが理想的！



注意すること

- ・必ず引率者の目が届くところで行う。
- ・鉈を扱う人の前や近くに立たない。
- ・周囲に人がいないことを確認してから薪割りを行う。

②火起こし



①着火材となる新聞紙を中心に少し太めの薪を井形に組んでいく。



②新聞紙の上に焚き付け用の薪や細い枝、落ち葉などをかぶせる。



細い枝や焚き付け用の薪も中心に入れると火がつきやすいドン！

②火おこし

②新聞紙に火をつけ、十分に着火し火が安定するのを待つ。



Point
着火するときはなるべく下の方から！火の特性を考えてみよう！



うちわ等であおぐのは逆効果！薪に火が移る前に新聞紙が燃え尽きてしまうドン！

③火の状態の確認

①焚き付けの薪に火がついているのを確認し、徐々に薪を太くしていく。



急に太い薪を入れてしまうと、火が燃え移りにくくなり消えてしまう可能性があるので注意！

注意すること

- ・ヤケドには十分注意をする。
- ・必ず軍手着用し、火ばさみを使い薪を入れる。
- ・火を起こす場所の周辺に燃えやすいものを置かないようにする。